



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

# 2021年度標準化推進部会業務報告会 医療情報標準化を取りまく動向について

2022年3月7日

国内標準化委員会

田中 利夫

1. JAHIS標準類の制定について
2. 委員会活動トピックス
3. 国内標準化トピックス

# 1. JAHIS標準類の制定について

昨年度業務報告会（2021年3月10日）以降に制定した「JAHIS標準」および「JAHIS技術文書」について概要をご紹介します。

制定済みのJAHIS標準類は下記URLにて公開しております。

- ◆ JAHIS標準 [https://www.jahis.jp/standard/id=87?contents\\_type=33](https://www.jahis.jp/standard/id=87?contents_type=33)
- ◆ JAHIS技術文書 [https://www.jahis.jp/standard/id=88?contents\\_type=33](https://www.jahis.jp/standard/id=88?contents_type=33)

JAHISでは、作成する標準類を下記の2区分に分けて制定しています。

- (1) **JAHIS標準** …… 技術的標準として定めた文書
- (2) **JAHIS技術文書** …… JAHIS標準に準ずる文書

## JAHIS規程3001号「JAHIS標準類の制定等に関する規程」による定義

(JAHIS標準)

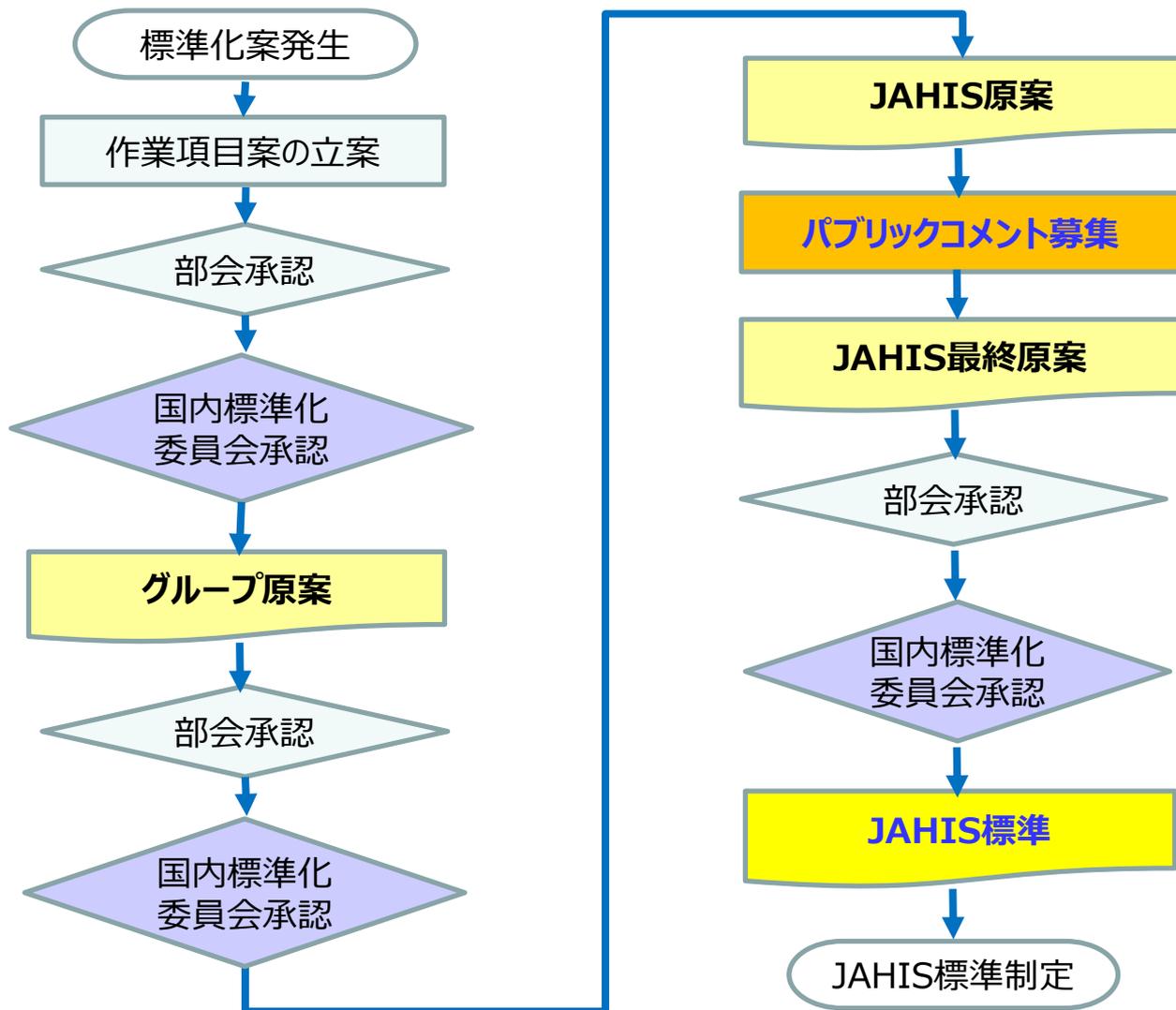
第3条 JAHIS標準とは、**保健医療福祉情報システム分野の特定項目に関して技術的な規範を定めた文書**で、本規程に基づき制定されたものをいう。

(JAHIS技術文書)

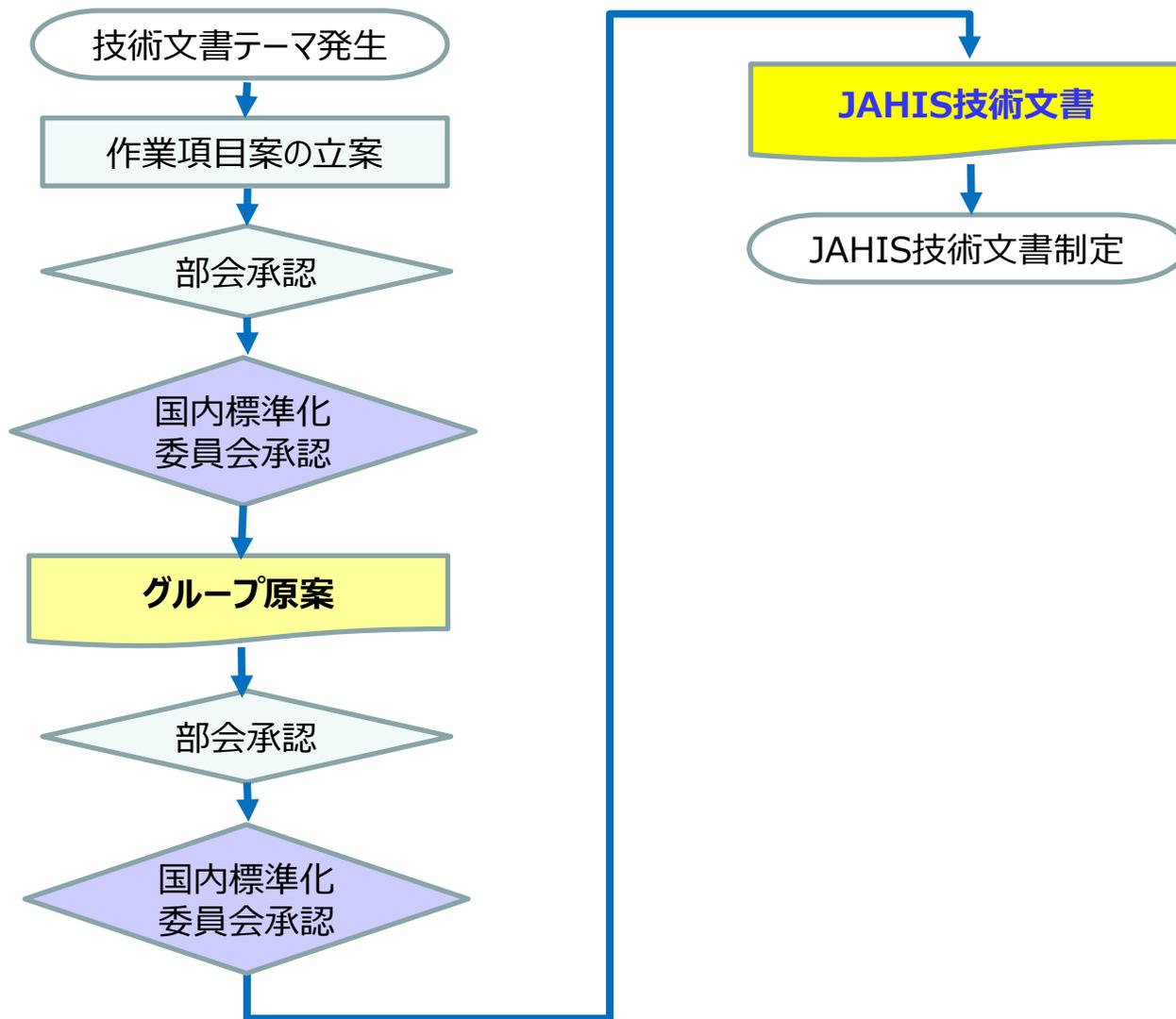
第4条 JAHIS技術文書とは、**保健医療福祉情報システム分野の特定項目に関し、技術的な規範を定めるが医療制度等の改定に対応して既存文書の改定が必要となるもの、技術的には確立されていないが技術的な規範を定めて運用することがこの分野にとって有益と考えられるもの、あるいは、技術や運用の基準を示すが規範性が弱いもの等**を、本規程に基づき制定されたものをいう。

- 2 本会が関与する国家プロジェクトの成果については、JAHIS技術文書として制定されたものとみなすことができる。ただし、JAHIS標準類テンプレートでの記載を必要とする。

# JAHIS標準の制定フロー



JAHIS規程3002号（付録）より



ID	題名	制定
21-001	JAHISヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約 Ver.2.1	2021年5月
21-002	JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0	2021年8月

まもなく制定見込みのJAHIS標準

題名	備考
JAHIS保存が義務付けられた診療録等の電子保存ガイドラインVer.4.0	パブコメ終了
JAHISデータ交換規約（共通編）Ver.1.3	パブコメ終了
JAHIS生理検査データ交換規約Ver.3.1C	パブコメ終了
JAHIS放射線データ交換規約Ver.3.2C	パブコメ終了
JAHIS内視鏡データ交換規約Ver.3.2C	パブコメ終了
リモートサービスセキュリティガイドラインVer.3.1	パブコメ受付中
JAHIS放射線治療サマリー構造化記述規約Ver.1.0	パブコメ受付中

## 21-001 JAHISヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約Ver.2.1

医療システム部会 セキュリティ委員会

### <改定の目的>

引用規格であったDICOM PS3.15 の改定により生じた、JAHIS標準内で定義しているイベントID やイベントタイプコードとの不整合を解消すること。

### <概要>

個人情報保護法、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイダンス」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に対応した監査証跡の取り扱いについて、2006年12月に標準規約を制定し、2014年3月にVer.2.0への改定を行いました。その後、引用規格であったDICOM PS3.15が改定され、複数のイベントIDとイベントタイプコードが追加され、ISO27789 (Health informatics - Audit trails for electronic health records)の改定も行われています。

それらとの整合性を取るため、本標準規約のVer.2.1への改定を行いました。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=803>

## 21-002 JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0

医療システム部会 検査システム委員会

### <目的>

内視鏡部門で作成するレポートの標準化により、院内、施設間での相互運用性を高め治療効果向上、医療安全に寄与すること。

### <概要>

内視鏡検査依頼部門および内視鏡部門、病理部門間で相互に参照される内視鏡検査レポートを対象とし、日本消化器内視鏡学会と連携するJED研究機構が開発した用語集の使用を想定した標準規約を整備しました。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=824>

ID	題名	制定
21-101	JAHIS看護データセット適用ガイド 看護行為編Ver.1.0	2022年1月
21-102	JAHIS地域医療連携の評価指標に関するガイドVer.1.0	2022年2月

まもなく制定見込みのJAHIS技術文書

題名	備考
JAHIS院外処方箋 2次元シンボル記録条件規約Ver.1.7	診療報酬改定対応

## 21-101 JAHIS看護データセット適用ガイド 看護行為編Ver.1.0

医療システム部会 部門システム委員会

### <目的>

医療情報システムにおける看護関連情報の共有及びリプレース時の継承、継承のための作業工数低減、看護情報の地域連携及び利活用に寄与すること。

### <概要>

電子カルテシステム等に含まれる看護指示・実施記録情報のシステムリプレース及び地域連携における相互運用性向上のためのデータセット、並びにデータ受け渡しのためのファイル形式を定義しました。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=839>

## 21-102 JAHIS地域医療連携の評価指標に関するガイドVer.1.0

### 保健福祉システム部会 地域医療システム委員会

#### <目的>

1. 各地域医療連携ネットワークシステムの評価指標の算出方法を統一し、都道府県への提出や、地域間での比較を容易にすること。
2. 各指標の特徴を明確にし、各地域で利用状況の評価、および改善点を検討する上で、指標の正しい使い方を理解しやすくすること。

#### <概要>

2019年10月に会計検査院からの指摘を受け、厚生労働省からも「地域医療情報連携ネットワークの現状について」が出ており、各地域医療連携ネットワークでは都道府県にアクセス数を報告する運用が開始されています。

しかしながら、各地域医療連携ネットワークに導入されたシステムにより、アクセス数の算出基準が異なるため、必ずしも各地域の地域医療連携ネットワークの利用状況を正しく把握できていません。そこで、ベンダーの垣根を超えて地域医療連携ネットワーク間で比較可能な指標の算出方法の提示を行い、標準化を図ります。

<参照URL> <https://www.jahis.jp/standard/detail/id=850>

## 2. 委員会活動トピックス

今年度の国内標準化委員会活動におけるトピックスについて、  
ご紹介します。

第25回日本医療情報学会春季学術大会でのHELICS協議会主催のチュートリアルにて、標準化活動におけるJAHISの取り組みをリモートで紹介しました。

チュートリアル2 HELICSに求められる標準化活動を参加団体の立場から考える	
開催日時	2021年6月10日(木) 13時00分~15時00分
開催会場	第2会場(米子コンベンションセンター 会議棟2階・国際会議室) ※ ※ハイブリッド開催
オーガナイザー	安藤 裕
主催	医療情報標準化推進協議会
テーマ	HELICSに求められる標準化活動を参加団体の立場から考える
座長	安藤 裕 (HELICS協議会) 江本 豊 (HELICS協議会)
演者	<p><b>第1部 参加団体の標準規格に対する取り組み状況と今後の展望</b></p> <p>(1) JAHISの取り組み (保健医療福祉情報システム工業会 田中 利夫)</p> <p>(2) JIRAの取り組み (日本画像医療システム工業会 鈴木 真人)</p> <p>(3) IHE-Jの取り組み (日本IHE協会 安藤 裕)</p> <p>(4) GS1ジャパンの取り組み (改正薬機法にみる医薬品・医療機器等の製品識別と情報連携) (GS1ヘルスケアジャパン 落合 慈之)</p> <p>(5) MEDIS-DCの取り組み (医療情報システム開発センター 山上 浩志)</p> <p>(6) JSRTの取り組み (JJ1017指針 -Ver3.4改定報告-) (日本放射線技術学会 山本 剛)</p> <p><b>第2部 データヘルス改革における厚生労働省の取組みについて</b> (厚生労働省 医政局 医療情報技術推進室 前田 彰久室長)</p>

## ◆ JAHIS標準類のカテゴリ分類表の更新

[JAHISホームページ](#) > [JAHIS標準](#) > [制定済標準](#)




 一般社団法人  
 保健医療福祉情報システム工業会  
 Japanese Association of Healthcare Information Systems Industry

[ホーム](#)
[文字サイズ](#)
中 大
[English](#)
[サイトマップ](#)
[お問い合わせ](#)

Google 提供  
[会員ログイン](#)

[JAHISについて](#)
[活動と報告](#)
[部会情報](#)
[JAHIS標準](#)
[教育・セミナー事業](#)
[会員向けページ](#)

[トップ](#) > [JAHIS標準](#) > [制定済標準](#)

[JAHIS標準](#)
[JAHIS技術文書](#)
[OID一覧](#)

[入会案内](#)

## JAHIS標準

JAHISで作成し、制定した標準を紹介しております。

### ※注意事項

- ・ 網掛されたものは既に改定された標準類ですので、最新版を閲覧してください。(旧版を参照しているシステムのために、現在も閲覧可能としています。)
- ・ 技術文書の中には技術動向の紹介目的で作成したのも存在します。各技術文書の制定目的をご理解の上ご利用ください。

JAHIS標準類のカテゴリ分類は [こちら](#) を参照ください

[各種届出書式](#)
[教育事業](#)
[制定済標準類](#)
[標準類全体図  
オーバービューチャート](#)
[会誌](#)

## ◆ JAHISで管理しているOSIオブジェクト識別子 (OID) の公開

[JAHISホームページ](#) > [JAHIS標準](#) > [OID一覧](#)

The screenshot shows the top navigation bar of the JAHIS website. On the left is the JAHIS logo with the text "一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会" and "Japanese Association of Healthcare Information Systems Industry". To the right are links for "ホーム", "文字サイズ" (with "中" and "大" buttons), "English", "サイトマップ", and "お問い合わせ". Below these is a search bar with "Google 提供" and a "会員ログイン" button. A dark blue navigation menu contains the following items: "JAHISについて", "活動と報告", "部会情報", "JAHIS標準", "教育・セミナー事業", and "会員向けページ".

[トップ](#) > [JAHIS標準](#) > [制定済標準](#)

A horizontal menu with three items: "> JAHIS標準", "> JAHIS技術文書", and "v OID一覧". The "OID一覧" item is highlighted in green.

A yellow button with a person icon and the text "入会案内" and a right-pointing arrow.

## OID一覧

JAHISで管理しているOSIオブジェクト識別子 (OID) の一覧を掲載しております。

JAHIS OID一覧は [こちら](#) をご参照ください。

A sidebar menu with three items, each with an icon and a right-pointing arrow: "各種届出書式" (with a clipboard icon), "教育事業" (with a graduation cap icon), and "制定済標準類" (with a book icon).

## ◆ 「JAHIS標準類文書での図表番号およびタイトル記載に関するガイドライン」の策定

[JAHIS会員専用ページ](#) > [各種申請用紙](#) > [標準類テンプレート・申請書](#)

▶ [メニュー](#)

[ログアウト](#)

各種申請用紙 [ダウンロード](#)

ディレクトリ 標準類 テンプレート・申請書 ▼

---

コメント お問い合わせ：事務局（TEL：03-3506-8010）

[Q 検索](#)

ファイル名	ファイルサイズ
<a href="#">01-0_標準類テンプレート_20211215.doc</a>	309 KB
<a href="#">01-1_JAHIS標準類文書での図表番号およびタイトル記載に関するガイドライン_20211109.pdf</a>	172 KB
<a href="#">02_JAHIS申請票（国内標準類）20190306.doc</a>	126 KB
<a href="#">03_JAHIS申請書（国際標準類）.doc</a>	79 KB

## ◆ JAHIS標準類文書品質チェック（校正・校閲）外部委託のトライアルを開始

### 3. 国内標準化トピックス

行政関連動向、HELICS協議会関連のトピックスについて、  
ご紹介します。

## 電子カルテ情報及び交換方式の標準化

### 【目指すべき姿】

患者や医療機関同士などで入退院時や専門医・かかりつけ医との情報共有・連携がより効率・効果的に行われることにより、患者自らの健康管理等に資するとともに、より質の高い切れ目のない診療やケアを受けることが可能になる。

### 1. 電子カルテ情報及び交換方式等の標準化の進め方

- ① 医療機関同士などでデータ交換を行うための規格を定める。
- ② 交換する標準的なデータの項目、具体的な電子的仕様を定める。
- ③ 当該仕様について、標準規格として採用可能かどうか審議の上、標準規格化を行う。
- ④ 標準化されたカルテ情報及び交換方式を備えた製品の開発をベンダーにおいて行う。
- ⑤ 医療情報化支援基金等により標準化された電子カルテ情報及び交換方式等の普及を目指す。

医療情報標準化  
推進協議会  
(HELICS協議会)  
医療標準化指針 採択

### 2. 標準化された電子カルテ情報の交換を行うための規格や項目(イメージ)

- ・ データ交換は、アプリケーション連携が非常に容易なHL7 FHIRの規格を用いてAPIで接続する仕組みをあらかじめ実装・稼働できることを検討する。
  - ※HL7 FHIRとは、HL7 Internationalによって作成された医療情報交換の次世代標準フレームワーク。
  - ※API (Application Programming Interface) とは、システム間を相互に接続し、情報のやり取りを仲介する機能。
- ・ 具体的には、医療現場での有用性を考慮し、以下の電子カルテ情報から標準化を進め、段階的に拡張する。
  - 医療情報：① 傷病名、② アレルギー情報、③ 感染症情報、④ 薬剤禁忌情報、⑤ 救急時に有用な検査情報、⑥ 生活習慣病関連の検査情報、⑦ 処方情報
  - 上記を踏まえた文書情報：① 診療情報提供書、② キー画像等を含む退院時サマリー、③ 健康診断結果報告書
- ※ 画像情報については、すでに標準規格 (DICOM) が規定されており、今後、キー画像以外の画像についても、医療現場で限られた時間の中で必要な情報を把握し診療を開始する際の有用性等を考慮して検討を進める。

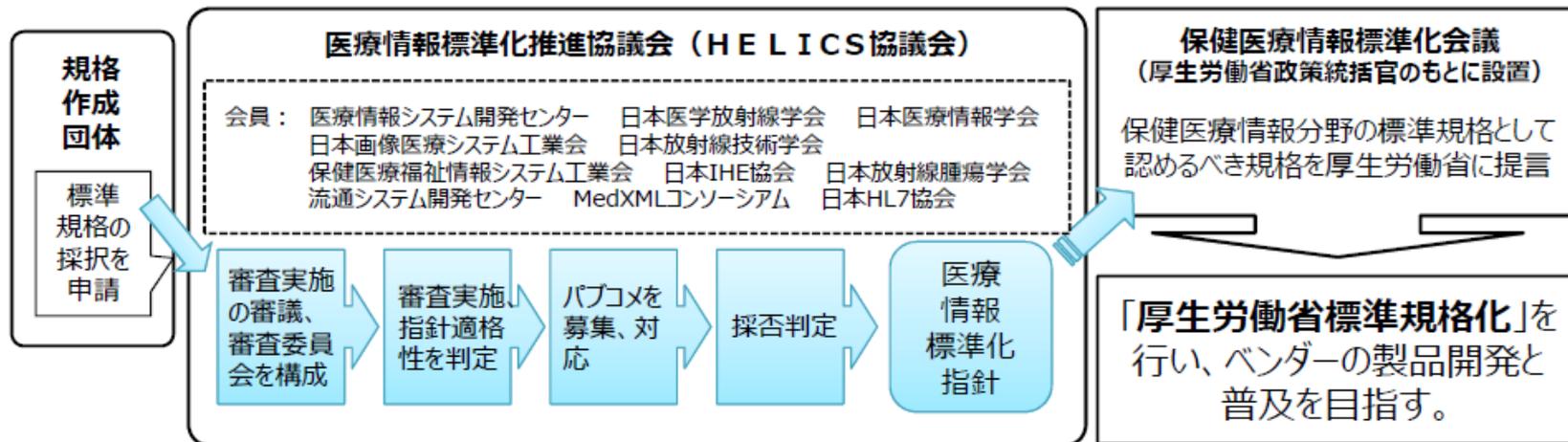
注：その他の医療情報については、学会や関係団体等において標準的な項目をとりまとめ、HL7FHIR規格を遵守した規格仕様書案が取りまとめられた場合には、厚生労働省標準規格として採用可能なものか検討し、災害時の利用実態も踏まえ、カルテへの実装を進める。

3

第1回 健康・医療・介護情報利活用検討会  
 医療情報ネットワークの基盤に関するWG  
 (令和3年11月10日) 資料2 (改変)

## 厚生労働省標準規格化に向けた進め方

- 令和2年度厚生労働科学特別研究事業「診療情報提供書, 電子処方箋等の電子化医療文書の相互運用性確保のための標準規格の開発研究」において、以下のHL7 FHIRの記述仕様書案を策定。 (研究班ホームページ <https://std.jpfhir.jp/> 上で公開)
  - ・ 診療情報提供書 FHIR®記述仕様書案
  - ・ 退院時サマリー FHIR®記述仕様書案
  - ・ 健康診断結果報告書 FHIR®記述仕様書案
  - ・ 処方情報 FHIR®記述仕様書案
- 今年度、学会や事業者等の各種規格作成団体等が参画する民間団体「HELICS協議会」の審査を経て「HELICS標準化指針」とした上で、「厚生労働省標準規格化」を行い、ベンダーの製品開発と普及を目指す (産官学が協力して標準化を推進)。



## 標準規格準拠の電子カルテにかかるコスト負担

標準規格準拠への更新費、標準規格準拠の電子カルテ導入費等をどう支援するか？

**医療情報化支援基金** 以下の要件等をもとに支援してはどうか。

中小規模医療機関を対象として、

- ・既に電子カルテが稼働している医療機関においては、標準規格準拠の電子カルテへの更新にかかる費用の一部
- ・電子カルテが未導入の医療機関においては、標準規格準拠の電子カルテの導入にかかる費用の一部

要件（「標準規格準拠条件の明確化と準拠の検証」）（案）

- ① 電子カルテの基本共通機能（標準パッケージ機能）として、HL7 FHIR規格に準拠した文書（診療情報提供書、退院時サマリー、健診結果報告書）のデータ入出力ができること。
- ② HL7 FHIR規格に準拠した文書のデータ出力時に含まれる医療情報（傷病名、検査、処方）には、厚労省標準規格等のコードやマスターを付与すること。  
 傷病名：厚労省標準規格「HS005 ICD対応標準病名マスター」等で活用されているICD-10コードと病名管理番号（傷病名マスター）  
 検査：厚労省標準規格「HS014 臨床検査マスター」等で活用されているJLACコード  
 処方：厚労省標準規格「HS001 医薬品HOTコードマスター」、薬価基準収載医薬品コード、YJ(個別医薬品)コード、レセプト電算医薬品マスター、等で活用されている薬品コード  
 厚労省標準規格「HS027 処方・注射オーダ標準用法規格」等で活用されている用法コード
- ③ HL7 FHIR規格に準拠した文書・医療情報の出力データサンプル、ならびに、データ送受信経路のネットワーク構成図（ネットワークトポロジー）を提出すること。等

**診療報酬** 現在の診療報酬の算定項目を踏まえ、既存の算定要件の変更等を検討してはどうか。

## ◆ 2021年度に採択された「医療情報標準化指針」

申請受付番号	提案規格名（ [ ] 内は提出団体名）	採択日
HS036	処方情報HL7 FHIR記述仕様 [日本医療情報学会]	2022年2月28日
HS037	健康診断結果報告書HL7 FHIR記述仕様 [日本医療情報学会]	2022年2月28日
HS038	診療情報提供書HL7 FHIR記述仕様 [日本HL7協会、日本医療情報学会推薦]	2022年2月28日
HS039	退院時サマリー HL7 FHIR記述仕様 [日本HL7協会、日本医療情報学会推薦]	2022年2月28日

## ◆ まもなく採択される見込みの「医療情報標準化指針」

申請受付番号	提案規格名（ [ ] 内は提出団体名）
20211101-01	「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド [日本画像医療システム工業会、 <b>保健医療福祉情報システム工業会</b> ]

## ◆ 医療情報標準化指針一覧（HELICS協議会のサイト）：

<http://helics.umin.ac.jp/helicsStdList.html>

**標準化推進部会 国内標準化委員会は、  
JAHIS中期計画、事業計画での方針および施策に基づき、  
各部門と連携して活動を推進してまいります。**

**JAHIS標準類の策定および普及推進には、  
関連部門／委員会／WGの皆様のご尽力とご協力が不可欠です。**

**今後とも、引き続き、よろしくお願い申し上げます。**

ご清聴いただきありがとうございました。

